

Viva 連絡会

Vol.6

2018.1

謹賀新年

「自分たちの出来ること」を

小さい事からコツコツと

有限会社 宗明会 代表取締役 山田聡



私事で恐縮ですが、介護事業所を立ち上げて早12年が経ちました。当初は右も左も分からず、諸先輩や仲間にアドバイスしてもらいながら、自分なりに調べ解釈して、日々運営を切り盛りして来ました。おかげさまで現在、自社内外問わず多くの仲間、長野県宅老所・グループホーム連絡会の会員の皆様からも多くの支えを頂いております。感謝の念につきません。

最近強く感じることは、時代の流れとともに様々な環境が大きく変化していることです。インターネット・携帯電話・家電製品・エネルギー・国家間関係等々。介護事業もやはり、便利になっていくと同時に人間関係が希薄になっていくのではないかと感じています。

そんな中で、私のここ一番の自慢の気づきがあります。それは自分のご近所“隣組”の大切さです。長男の私は早くに父を亡くしたこともあり、20歳代から隣組の活動に携わってきました。初めの10年間ぐらいは大変だと思っていました。その後は楽しみながら積極的に関わっています。先日その隣組の宴席で二世代も違う方から「山田君の小さい頃は屋根の上が遊び場だったよね。」と話かけられました。その一言で、自分を知ってくれている身近な人は、家族や友達・職場の仲間だけではないんだ、親だけに育てられたのではないんだ、と気づき、いろいろな感情が湧きだしたととても幸せだなあと

思いました。自分の歴史を知る方々はとてもありがたい存在だと改めて感じました。

介護事業所でも同じことが言えると思います。私たちがどのように活動しているかを近所様は見えています。報酬改定で制度の流れが大きく変化しても、人の営みは大きく変わりません。目の前の“困りごと”に関して、何が出来るか？何が必要とされているか？

“考え抜いて手を当てていく”そのことを通して“地域とつながっていく・成長していく”ことが求められます。

宅老所ステップアップ研修では、「自分たちの出来ること」を具体的なものにし地域に発信していくことが一旦のゴールであります。そこからが本当のスタートです。「パートナーシップ宣言」以降はどのようにそれを実現していくか。課題は大きいと考えますが、小さい事からコツコツと誠実にやっていくしかないのかな？と考えます。

Contents

◆Pick Up!

平成29年度宅幼老所
ステップアップ計画

◆Shere金沢視察報告

◆北信のつどい

◆【リレー特集】
北信会員の取り組み

いよいよあと少し!

宅幼老所 ステップアップ研修

残すところ3回となった宅幼老所ステップアップ研修。
Step I、IIを終えいよいよ Step IIIに入りました。

「熱き仲間」と一緒に過ごす 「考える時間」はとても有意義!

7月より始まった「宅幼老所ステップアップ研修」は、よろず支援機能の「地域支援機能編」「共生ケア編」「認知症地域支援編」を3つの柱に掲げています。それぞれのパイオニアの講師から「そもそも宅幼老所とは?」と宅老所の原点について、学びを得ました。

「宅幼老所は地域の施設ではなく拠点なんだ!」
By 宮島渡氏。「介護の対象者は誰?障害種別で見るとは、地域特性、地域ニーズから見るのが地域福祉だ」
By 惣万佳代子氏。「介護をしない。介護を求めている。宅幼老所の本質を理解し行動することだ」
By 田中正廣氏。3人の講師陣より、熱き想いと宅幼老所実践のツボを伝授いただき、いよいよ応用編の「生活支援計画作成研修」「地域支援コーディネーター」の研修に突入しています。

応用編は、より具体的に、実践に繋がるように、と進行しています。それぞれの地域で求められるニーズに対し、老いも若きも、障害者も、目の前の人にとって何が出来るかに焦点をあててゆくこと、それが本来の宅老所の姿です。

参加者約70名の「熱き仲間」と一緒に過ごす「考える時間」はとても有意義なひとときです。

最終的には、パートナーシップ宣言を作り各事業所の新たな活動が始まります。今後が楽しみです。是非、今回参加の事業所の一味違う取り組みに期待してください。

宅幼老所ステップアップ研修 今後の予定



よろず支援機能・応用研修～共生ケア研修

- 【1日目】1月26日(金) 会場:長野県理容会館 大会議室 講師:福岡寿氏
- 【2日目】2月15日(木) 会場・講師未定
- 【3日目】3月 8日(木) 会場:未定 講師:森田真希氏

Pick Up!



※長野県地域医療介護総合確保基金事業 宅幼老所機能強化事業

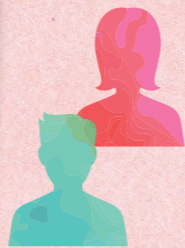
参加者の声

正直宅幼老所がこんなにすごい所だとは思っていませんでした。家族でもない一人の人間の過去や歴史に想いを寄せ、その暮らしさに真剣に悩み、振り回され、最高の看取りまでしようと奮闘する事まで出来る宅幼老所。地域の『よろず拠点』となる事が出来る唯一の場所なのかもしれないと、受講を重ねる度に思い知らされ責務の大きさを感ずります。一步一步ステップアップして行きたいです。

宅老所かいご家 生活相談員 齋藤和恵

よろず支援機能・基礎研修(地域支援機能・共生ケア機能・認知症支援機能)どの機能も、地域との関わりを強く持ち、地域の問題を把握しニーズに合わせたものが必要だと感じました。私は特にこれから向うであろう「共生ケア」編で、初めて富山型の話を通じて一段と興味がわきました。今後の応用編にも生かしていきます。

燦倶楽部 北 管理者 保科信司



申し込み締め切りは
1/14(日)です!

シェア金沢

10月24日 金沢視察報告

有限会社 創生活環境運営
代表 伊東 進

10月24日にShare(シェア)金沢と三草二木 西園寺に視察に行つて参りました。「Share金沢」は結核療養施設の跡地に建てられた天然温泉付きの福祉事業の集合エリアで、サ高住、児童入所施設、高齢者デイサービス等の他、学生向け住宅、雑貨屋や飲食店、クリーニングから整体院、全天候型グラウンドまであり、一つの街を形成しているかのようでした。残念な事に居住者の方からはお話を伺えませんでした。福祉事業と街並みがスタイリッシュに統一され、新興住宅地の趣を感じました。



「三草二木 西園寺」は廃寺を改修し、「地域の拠り所」「障害者生活介護」「就労継続支援B型施設」「高齢者デイサービス」「放課後等デイサービス」「天然温泉」などを運営しています。一番の驚きは「地域の拠り所となる」ためにと近隣住民の要望を聞き、温泉を掘削したことです。本堂でデイの利用者様がくつろぎ、障害者とスタッフが温泉上がりのお客さんに食事を提供する様子が大変印象的でした。視察メンバーもしっかり温泉に浸かり、美味しい食事とビールを堪能してきました!

これら事業所に共通するキーワードは「ごちゃまぜ」です。高齢者も障害者もスタッフも地域も、垣根なく営める暮らし方のヒントを得た視察でした。

11月11日 北信のつどいが行われました!

宅老所・居宅介護支援事業所
ひなたぼっこ
施設長 関 純子

11月11日土曜、第1回北信のつどいが山ノ内町で行なわれました。北信地区にかかわらず南信地区からも多数参加があり、30名ほどの「つどい」になりました。

山ノ内町文化センターでの研修会では、宮島渡理事長から平成30年の制度改正についての説明が一時間程あり、参加者と熱い意見が交わされました。基本報酬の引き下げ、専門職によるリハビリ実施での報酬加算等の説明に対して参加者から、「これから高齢者が増える中スタッフの確保さえ難しいのに、報酬を下げるなんて…、国は何を考えているのか教えてほしい」「畑や食事作りを一緒にやっている事業所で、改めてリハビリを行う事が想像できない、何に取り組んでいったらいいのか」「リハビリのためにPTを呼んだら、一時間二万円掛かった、かなりの負担だ」等、様々な意見がだされました。

宮島理事長から『デイとしては二本柱が重要』である、一つは「家族が多様化している中で、一時間単位で利用可能としていく案がでている事、地域とのつながりを大事にオリジナリティがある事」、もう一つは「リハビリの強化。小規模事業所が、リハビリの専門職と連携し、重度になった方にリハビリを行うことで、回復の支援、小規模事業所の利用継続、そして介護度が下がる、などの評価も大事になる。」と、今後の動向を踏まえた貴重なお話を聴く事ができました。

懇親会は、飲めや飲めやの大騒ぎでした。私は「こんなベテランの講師や講演会に立つ方と…正直緊張して飲めない!」と思っていましたが、かいご家の松本さんから「こっち来て〜!」「そんな気〜遣わなくていいんだよ〜」と声を掛けられ、お酒も進み、愚痴話をさせてもらいました。「皆、悩んでいる事や感じている事は一緒なんだな〜」と思うと少し気持ちが楽になりました。皆さん、色々な事を経験されているからこそ、一つ一つの言葉に重みがあり、気持ちが共感できてとてもうれしく思いました。おこがましいですが、仲間意識がさらに強くなった気がしました。お酒は次から次へ尽きることなく、できました。みなさんお強い!!!私は途中で帰りましたが、宴は遅くまで続いたようです(*^_^*)

みなさんには、気さくに接して頂きました、ありがとうございました。私のように悩みや不満を抱えている方は、是非参加してみてください。裏の裏話が聞けるし、元気をもらえますよ!!



北信会員の取り組み



【法人事業所名】

特定非営利活動法人 のぞみ

宅老所のぞみ

〒388-8016 長野県長野市篠ノ井有旅 2337-1

TEL : 026-292-2243 FAX : 026-293-9946

E-mail : nozomi@ca.wakwak.com



なんの変哲も無い事業所を立ち上げて、はや14年。取り立てて言うほどの特徴もなく、こんな感じ?こんな風??「宅老所」と名乗っている割には、誇れるケア論も思想も無い。諸先輩がたの話をフンフンと聞きながらも、やっぱり宅老所チック、宅老所的…。そんな範疇から脱しきれずに現在に至りました。先輩方のお叱りは甘んじて受けます。

最近は何事もなく、「やっぱり身の丈にあった仕事しかできない」し、それでも事業所を潰したら職員と利用者さんが困るので、潰さないように潰さないようにと念じています。おかげさまで「介護になんの思い入れもない素人集団」が立ち上げた事業所でも、年月とともにそれなりに地域で幅を利かす(笑)までに育ちました。「なんの変哲も無い事業所」だけど、いわゆる「集団の真ん中」に居れば間違いないはず。ただし、最近は何事もなくに居るのも難しくなって来ている。何が標準。平均か?介護保険自体が浮き足だっているいろいろなやり始めているなか、メインストリームを見極めるのも楽ではありません。



特に最近「のぞみは遅れている、そんな時代じゃなくなった…」といわれやしないかという不安感が益々強くなって来ている。でも「なんの変哲も無い事業所」が更に浮き足立ったら目もあてられない。この先も地に足を付けて出来る事を出来るだけやって行くことが肝要かと思っています。

特に関心のある方は、ぜひお問い合わせください。



今後のスケジュール

1月26日…よろず支援機能・応用研修～共生ケア研修

2月24日…南信のつどい

2月8日…認知症ケア・上級研修

3月8日…よろず支援機能・応用研修～共生ケア研修

2月15日…よろず支援機能・応用研修～共生ケア研修

3月24・25日…全国宅老所・グループホーム研究交流フォーラム in 長野

information

全国宅老所・グループホーム研究交流フォーラム in 長野が開催されます!

今回の研究交流フォーラムは、全国の仲間が集まり、全国の実践を知ることが出来るフォーラムです。サービスを利用する当事者、現場のスタッフ、厚労省の担当者との意見交換を行いながら「日本丸の羅針盤はどこを指し示すのか」見極めましょう。基調講演は障がい福祉界の第一人者の福岡寿さんをお願いできました。「僕が思う共生社会」を思いっきり語っていただきます。懇親会は全国の仲間どうしでの「ぶっちゃけトーク」で大盛り上がりとの予定です。たくさんの参加をお待ちしています。

【日程】2018年3月24日(土) 13:00
～3月25日(日) 12:40

【会場】長野市生涯学習センター4F
【参加費】5,000円/名

〈問い合わせ・申し込み〉

宅老所・グループホーム全国ネットワーク事務局
TEL : 050-5215-3568
FAX : 079-293-1059
Mail : jimukyoku@takurosho.net